



## ベネフィットリアライゼーション管理 ～ 確実にベネフィットをリアライズせよ～

### 1. はじめに

ベネフィットリアライゼーション管理とは、ベネフィットを識別して、正式な戦略と整合させ、確実なベネフィットを実現（リアライズ）するための一連のプロセスとプラクティスの集合であり、それを実践するために予めベネフィットリアライゼーション計画を立案する。

ベネフィットリアライゼーション計画とは、計画されたベネフィットを達成するために必要な活動を概説する文書であり、時間の経過とともにベネフィットが完全に実現することを確実にするためのタイムライン、ツール、リソースを識別するものである。

ベネフィットリアライゼーションのようなアプローチは、多くのプロジェクト、プログラム、ポートフォリオ管理手法に明示され組み込まれている。

### 2. 期待されるベネフィットが意思決定をサポートする

プロジェクトマネージャやプロジェクトチームは、プロジェクトの詳細を重視し過ぎることがある。しかし、注目すべきはそのプロジェクトに対する期待されるベネフィットであり、そのベネフィットをサポートすることに対して意思決定をすることを確実にするほうがよい。

また達成目標を定義し、合意されたベネフィットの測定方法を組み込むことが重要となる。そして、測定、コミュニケーション、報告によってプロジェクトをサ

ポートし、適切な期待値管理を確実にすることに役立つことができる。

### 3. ベネフィットリアライゼーション計画

ベネフィットリアライゼーション計画には、「ベネフィット識別」「ベネフィット提供」「ベネフィット持続」の3つを含める。

- ベネフィット識別  
投資に対する期待されるベネフィット
- ベネフィット提供  
意図されたベネフィット、および意図していなかったベネフィットの両方のリアライズをとらえる
- ベネフィット持続  
戦略的目標の達成とベネフィットの持続を実現する



ベネフィットリアライゼーション計画は、プロジェクトの早い段階で計画する。しかし、多くのベネフィットの実現（リアライゼーション）は、プロジェクト期間中に完全に実現されるものは少ないかもしれない。従って、計画の妥当性をチェックするポイントとしては、期待されている期間の中で、計画されたベネフィットを提供するスケジュールや活動を確実にすることである。

## 4. まとめ

このベネフィットリアライゼーション管理というアプローチは、SIAM® プロフェッショナル BOK で紹介されているアプローチでもある。SIAM® では現在のオペレーティングモデルから、SIAM® オペレーティングモデルに移行するプロジェクトが実施される。そのため、様々なステークホルダの期待値管理の一部としてコミュニケーションや報告するためのベネフィットリアライゼーション管理を活用することが有効である。

ぜひ、プロジェクト管理、プログラム管理、ポートフォリオ管理の手法に組み込んでみることをお勧めしたい。

### [著作権等]

本稿に含まれる情報は著作権で保護されており、DIG2ネクスト株式会社の明確な許可無しに複製されたり、第三者に開示されたりすることはできません。

VeriSM™ is a registered trade mark of IFDC.  
SIAM® is a registered trade mark of EXIN Holding B.V.  
EXIN® is a registered trade mark

ITIL® は AXELOS Limited の登録商標であり、AXELOS Limited の許可のもとに使用されています。すべての権利は留保されています。

IT Infrastructure Library® は AXELOS Limited の登録商標であり、AXELOS Limited の許可のもとに使用されています。すべての権利は留保されています。

COBIT と COBIT のロゴは、米国及びその他の国で登録された情報システムコントロール財団（Information

Systems Audit and Control Foundation, 本部：米国イリノイ州）及び IT ガバナンス協会（IT Governance Institute 本部：米国イリノイ州：www.itgi.org）の商標（trademark）です。COBIT® の内容に関する記述は、情報システムコントロール財団および IT ガバナンス協会に著作権があります。

Project Management Institute, A Guide to the Project Management Body of Knowledge (PMBOK® Guide)–Fifth Edition, Project Management Institute, Inc., 2016  
PMBOK® Guide is a registered mark of Project Management Institute, Inc.

Agile Alliance and the Agile Alliance logo are marks of Agile Alliance.  
Agile Practice Guide was jointly by Agile Alliance® and was developed in collaboration with members of the Agile Alliance®.

[筆者]  
DIG2ネクスト株式会社  
代表取締役 鈴木寿夫

ITIL®/IT サービスマネジメントの普及促進をするために、2008年に会社を設立し教育事業およびコンサルタント事業を行う。

ITIL® V2 サービスマネージャー認定資格取得のための研修立ち上げに携わり、ITIL® V3 エキスパート認定資格は日本第1号資格取得者として、多くの資格者を育てた実績をもつ。ITIL® に関しては16年以上の経験と実績をもつ。

